

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日実施 小学校第6学年対象

1 調査について

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査内容

- 教科に関する調査（国語、算数）
 - ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力等
- 質問紙調査（児童質問紙調査）
 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 学校全体としての結果の概要

(1) 教科に関する調査

- 国語
 - ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができています。
 - ・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたことや自分が聞きたいことの中心をとらえることができています。
 - ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、文章の種類とその特徴について理解することができています。
 - ・「書くこと」において、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表すことに課題が見られました。図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示したり、書いた文章を互いに推敲したりする学習を通して、自分の考えが伝わる文章表現、相手がよく理解できる文章表現ができるように指導します。
- 算数
 - ・「変化と関係」において、伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができています。
 - ・「図形」において、正方形の意味や性質について理解しています。
 - ・「数と計算」において加法と乗法の混合した整数の計算をしたり分配法則を用いたりすることができています。
 - ・「図形」において、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるように指導します。

(2) 生活習慣等に関する質問調査（児童質問紙から）

- ・「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人が困っているときは進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」「学校に行くのは楽しい」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「日本や住んでいる地域のことについて外国の人にもっと知ってもらいたい」「学習した内容について、分かった点やよく分からない点を見直し、次の学習につなげられる」の項目に高まりが見られます。
- ・全国の結果より、主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びと児童生徒の自己有用感等の間には相関が見られました。主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びが、児童生徒の自己有用感等に影響を与えている可能性があることが考えられます。本校でも引き続きそのような学びの充実に努めていきます。